



## じょうご 畳語 (繰り返し語)

畳語 (じょうご) とは、同じ単語・漢字を重ねて反復して作られた言葉です。

①意味を強めたり、②事物の複数を示したり、③動作の反復・継続などを表したりする。物を折り返して重ねるという意味を持つ「畳(たた)む」というのが由来で、「繰り返し語」ともいう。日常よく使われているが、漢字だところ書くのかという意外なものが多い。同じ漢字を重ねた畳語を集めてみました。辞書の隅々まで、細々と、一々ひも解きました。

常々・時々使い、易々と読めそうで、中々読めない畳語。

畳語	読み	意味 「用例」	畳語	読み	意味 「用例」
総総	ふさふさ そうそう	数多く厚く垂れ下がったさま。 「髪の毛が総々だ」	態態	わざわざ	特別にするさま。 「態々来てくれたのにその態度はない」
鈍鈍	のろのろ	動きが遅いさま。 「亀の歩みが鈍々だ」 「鈍鈍・鈍器・法廷？」	津津	しんしん	絶えず湧き出るさま。 「津々浦々広がる景色に興味津津」
区区	まちまち	一つ一つが同一でないさま。「東京都の区の夫々の意見が区々だ」	恐恐	こわごわ きょうきょう	具体的な脅威・おそれ・不安を恐れる 「恐々と恐妻に近づいた」
寸寸	ずたずた	きれぎれになるさま。「一寸法師が鬼を寸寸に細断した」	怖怖	おどおど おすおす	抽象的なもの・目に見えないものに恐れるさま。「お化けに怖怖する」
交交	こもこも	多くのものが入り混じっているさま。 「悲劇と喜劇で悲喜交々」	戦戦	わなわな せんせん	ぶるぶるふるえるさま。「ロシアの侵攻を戦々恐々と戦戦みている」
限限	ぎりぎり	それ以外に余地のない様子。「門限までに八王子に限々帰れるかな」	強強	こわごわ	かたくこわいさま。 「紙や反物などの地が強々している」
井井	せいせい	秩序正しく整っているさま。「平井の服装は平凡だが井々している」	予予	かねがね	以前から。予てから。 「お噂は予々から聞いておりました」
努努	ゆめゆめ	決して。少しも。 「努力した結果を努々忘れるな」	温温	ぬくぬく	温かいさま。満ち足りたさま。「温かい家庭で、温温と温室育ち」
忙忙	せわせわ	せわしくて落ち着かないさま。 「多忙で忙忙している」	熟熟	つくづく つらつら	じっくりと考えたり観察したりするさま。 「畳語を熟熟調べた」
刻刻 段段	ぎざぎざ	刻み目のあること。 「鋸の歯が刻刻している」	然然	しかじか そうそう	長い文句を省略して、それに代用する言葉。 「これこれ然然の訳アリ」

なみなみ                      なかなか                      なぞなぞ  
 読むのが並々ではない、何々読めない、意味も謎々な畳語。

苛々 刺々	いらいら	刺などが皮膚に触れた時の感じ。心が苛立つさま。じりじり。	恢々	かいかい	大きいさま。広いさま。「天網恢恢疎にして漏らさず」
奄々	えんえん	息の絶え絶えのさま。あえぐさま。「氣息奄々」	皚々	がいがい	霜や雪が降り、一面に白く見えるさま。「白皚々」
怏怏 鞅々	おうおう	不平なさま。満足しないさま。恨みの思うさま。	戛戛 戛戛	かつかつ	堅いものがぶつかる音。鶴など、鳥の鳴き声をするさま。
唯々	いいただただ おお	承知の返事。急に思い出した時に発する声。「唯々諾々」	颯々	さっさつ	風の吹くさま。
悄悄	すごすご しおしお しょうしょう	力が抜け、勢いがくじけて衰れなさま。しおれ弱るさま。	爽々	すがすが せいせい さばさば	気持ちの爽やかなさま。
瑟瑟	しつしつ	風の寂しく厳しく吹く音のさま。波の立つさま。	嫋嫋	しなしな じょうじょう	力が抜け、勢いがくじけて衰れなさま。しおれ弱るさま。
染々 沁々	しみじみ	深く心にしみて。よくよく。つくづく。	瀟瀟	しょう しょう	風雨が激しいさま。
痴れ 痴れ	しれじれ	いかにもとぼけているさま。また、おろかにみえるさま。	岑岑	しんしん	頭などがずきずき痛むさま。
滔々	とうとう	水が盛んに流れるさま。弁舌が流暢で澁みがないさま。	飄飄	ひょう ひょう	翻るさま。行く先の定まらないさま。世間離れして掴まえ所のないさま。足元がふらついていているさま。また、目的もなくふらふらと行くさま。
兀々	こつこつ	地道に物事を行うさま。目立たず着実に物事を行うさま。			
仄仄	ほのぼの	かすかに明るくなるさま。わずかに聞いたり知ったりするさま。			
毳々 (しい)	けばけば (しい)	どぎつい、毒毒しい	子子	けつけつ	孤立するさま。特出しているさま。ぼうふら。

子子に子子浮きて子が眠る子の刻にわれ子子たるを・・・

読み方色々、意味も種々。数々ある畳語。

白々	しろしろ	白くなっていくさま。	丁々	トントン	鼓を打つ音
	はくはく	明らかになっていくさま。明々白々		とうとう	水を切る音。
	しらじら	しらじらしいさま。		ちょうちょう	激しく議論を戦わしあう様子を表す語。
	しろじろ	たいそう白いさま。		ていてい	木や杭を打つ音。暮を打つ音。水時計の音。

